

あひま サカタ

2017



vol.177

10



はいっポーズ!

《相内地区・西相内》

ジュニア4Hクラブの収穫体験の様子

(紹介は2ページです)

特集 平成29年産食用馬鈴しょと
玉ねぎの需給動向



季節の薫り



味覚の秋を満喫

台風が忍び寄る9月中旬、端野地区で「第32回たんのカレーライスマラソン」が開催されました。

このイベントは、4人1チームでそれぞれのコースを走り、カレーの具材（イモ、タマネギ&ニンジン、肉、カレールウ）をゲットし、ゴールした後に調達した食材でカレーを作って食べるという一風変わったマラソン大会です。

タイムや順位を競うマラソン大会とは違い、楽しく、おいしく、カレーを食べることが目的。秋晴れのなか、体を動かした後にみんなで食べるカレーの味は格別となり、味覚の秋を満喫しました。

(石井 睦美)



写真は9月17日、北見市端野町屯田の杜公園で撮影。右下写真は関門所でジャガイモを手に入れる参加者のみなさん。

もくじ CONTENTS

特集

平成29年産
食用馬鈴しょと玉ねぎの
需給動向

4

○季節の薫り……………2

○表紙紹介……………2
「収穫する喜びを感じて」

○地域だより……………8

○ほのぼの広場……………10
・きたみらいのホープさん
・記念の一枚
・フリティーウーマン
・わが家のアイドル

○JAからのお知らせ……………12

○おひさまサラダクッキング……………22
「牛肉とゴボウの甘辛煮」
「ゴボウのかき揚げ丼」

表紙紹介

収穫する喜びを感じて

相内地区で9月24日、相内ジュニア4Hクラブの収穫体験が行われました。同クラブ会員の小学生と幼児、保護者ら約40人が参加し、5月末に植え付けをした馬鈴しょ、玉ねぎ、南瓜など5つの作物を収穫しました。当日は朝から好天に恵まれての開催となりました。

参加した子どもたちは父母の会役員の指導を受けて、土だらけになって楽しそうに収穫しました。自分たちで育てた野菜に「こんなに大きくなったんだ」「たくさんとれた」と笑顔で収穫を喜びました。

同クラブ父母の会の飯田紀会長は「最近、土に触れながら収穫する喜びを感じられる機会が少なっている。親子の体験活動をきっかけに土に触れる機会が増えてくれたらうれしい」と話しました。

今後は11月の収穫祭した野菜をみんなで調理して食べる予定です。
(菊池 光祐)



▲収穫した野菜を手を持って記念写真

平成29年産

食用馬鈴しよと玉ねぎの需給動向

食用馬鈴しよ



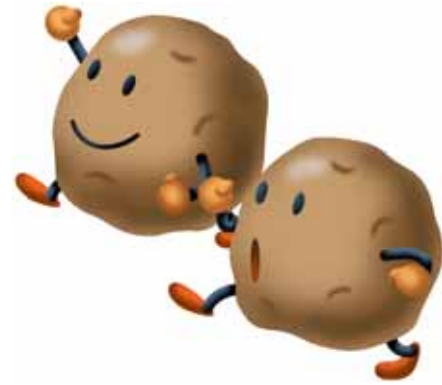
全道生産動向

作付面積は増加
減少傾向に歯止め

道内の本年産馬鈴しよの作付面積は28,424haとなり、前年に対し8.1%増加、近年続いていた減少傾向に歯止めがかかった状況にあります。依然加工品種にシフトしている傾向にあります。

植付作業は、融雪が順調に進んだことで平年より数日早い開始となりました。作業期間中も好天に恵まれ総じて10日早く並で終了となりました。

植付後の生育は例年より萌芽も早く、適度な降雨もあり初期生育は確保されましたが、6月に入り低温・日照不足・降雨の影響から、一時生



育は停滞しました。6月後半以降は気温・降水量とも平年並みに推移し生育は回復、圃場間格差はあるものの総じて順調に推移しました。

馬鈴しよの収穫は、平年並みに前進栽培から開始され、その後も比較的好天に恵まれ収量・品質ともに平年並みの水準が見込まれています。

需給の見通し

スムーズな荷動き
に向けて取り組み

生食向けの販売状況については、関東近在産地の小玉が多く出回っており、本年産は下玉規格を中心に苦しいスタートとなりました。8月下旬より各産地本格出荷となり、北海道産フェアの早期実施等により府県

産から北海道産へ徐々に売場は切り替わりましたが、一般野菜が安価であったことや府県産の終了時期の後ズシ、高温の日が続いたことからの煮炊き商材の消費減退等の要素もあり、販売苦戦の状況が続きました。9月下旬からは市場内在庫は増加傾向となり市況は弱含みの展開となりましたが、卸売市場各社、末端アイテムの量目変更・売価変更、特売企画等により拡販体制を整え、スムーズな荷動き創出に向け取り組みを行っております。

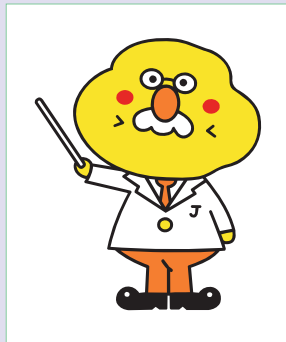
中心に堅調な販売が続いておりますが、H28年産の台風被害による供給不足から間口が狭まったことや、府県産の小玉規格を中心に潤沢な原料が出回ったことから北海道産の荷動きは鈍化しております。



馬鈴しよ消費拡大プロジェクト

- 「じゃがい問題研究所」は、北海道産食用馬鈴しよの消費拡大に向けて、H24年8月より全道馬鈴しよ取扱対策会議とホクレンにて設立し活動を開始。H26年より「じゃがい問題研究所」新所長キャラクターに「いもろう所長」を選定、新助手に「川本紗矢（AKB48チームB所属）」を起用し本年産も継続した活動を行っております。
【ホームページアドレス: www.Jagaimondai.jp】
- 主な活動
「じゃがい問題研究所」は北海道産馬鈴しよが本格的に収穫・流通し始めることに合わせて、8月4日を「北海道ばれいしよの日」とする記念日登録を一般社団法人日本記念日協会認定されおりイベントを実施しています。
【ホームページアドレス: www.kinenbi.gr.jp】
(※「北海道ばれいしよの日」は、馬(8)鈴(O)しよ(4)の語呂合わせが由来。)
- 量販店需要喚起イベントの実施（新じゃが祭り・エバラコラボ・玉ねぎコラボ）
- じゃがフェイスじゃが祭り等）
- 「じゃがい問題研究所」ホームページのリニューアル
- 吉田たかよし先生との「効能レシピ」開発
- 川本紗矢コラボグッズの販売、動画配信等

所長キャラクター
「いもろう所長」



実りの秋を迎え、収穫作業は概ね順調に進んでいるかと思われれます。馬鈴しよ・玉ねぎの選別作業が最盛期を迎え、本格的な販売に入りました。全道の生産動向、消費地情勢、販売対応などを巡る状況について、お知らせします。

玉ねぎ

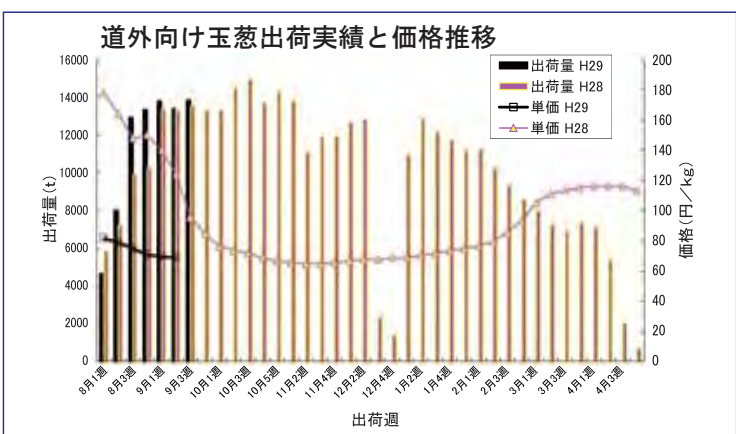
全道生産動向



全道的に平年を上回る収量

本年は、融雪が順調に進み植付開始は例年より早い4月中旬から始まり、その後も天候が良好だったことから作業は順調に進み、植付終了は平年より1週間以上早く終了しました。

植付後は、干ばつ傾向となりましたが、5月下旬以降は一変して多めの降水量及び低温傾向となり、一部



圃場にて水やけ症状が発生しました。その後、適雨適温で推移したことから、草丈及び葉鞘径は平年を大きく上回り、玉肥大も良好に推移し、全道的に平年を上回る収量となりました。

選果開始は、JAきたみらいで昨年より3日早い8月5日から、全道主産地も概ね8月上旬からの選果開始となりました。また、全道対策として前倒し出荷対策を行い、きたみらいとしても8月31日までの需給対策において計画並みの出荷を達成しました。品質においても収穫期が好天に恵まれたことにより、病気の発生も少なく総じてきれいで色沢が良い玉ねぎに仕上がっております。

消費地情勢

前捌きは緩慢 厳しい販売状況

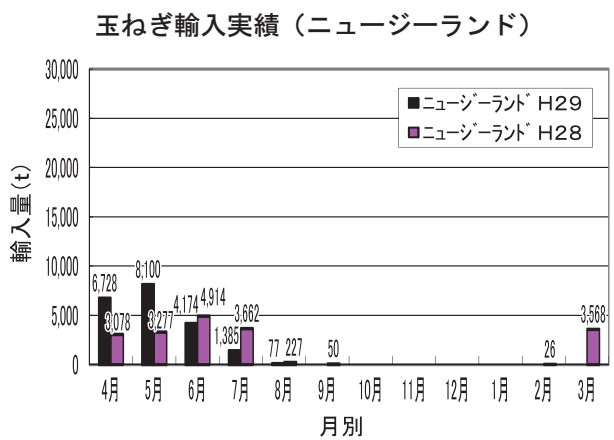
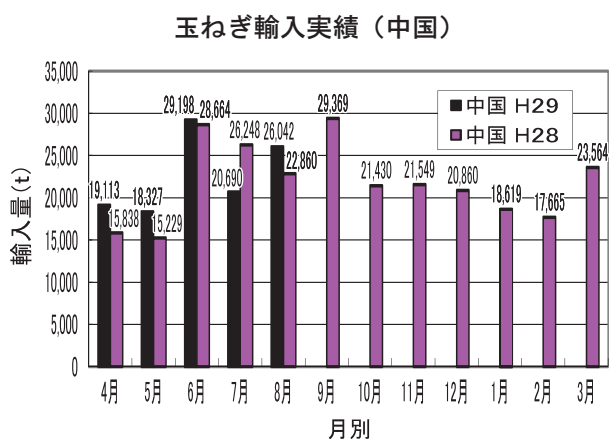
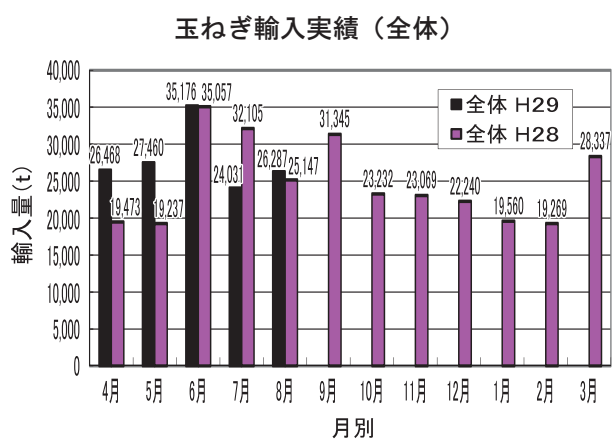
本年産は府県産の収穫遅れや後ずれ出荷、輸入品(ニュージーランド産)の在庫や一般野菜価格低迷の影響を受けるなどして、昨年とは違いくなり厳しい環境の中でスタートを切りました。取引先に対しては、北海道産開始前より、8月から昨年並みの十分な量を出荷計画としている旨をアナウンスし、産地切替を促し拡販体制を構築すべく、出荷・販売を進めている状況ですが、現況の販売は、道産の本格出荷を迎えて販売量は停滞傾向で、市場在庫は膨らみ直近の在庫率は3・8日という状況にあり、安価な転送品も横行しており前捌きは緩慢な状況で厳しい販売状況となっております。



輸入玉ねぎ

中国産は豊作傾向 米国産は平年を下回る

(1)加工業務用の動向
①北海道産の出荷最盛期に入り、安定的な原料調達が可能となったことから、ある程度の在庫量を持った状況となっております。
②また、府県産及びニュージーラ



(2)中国
現在、甘肅省(かんしゅうしょう)の出荷が開始しております。甘肅省も山東省(さんとうしょう)に引き続き豊作傾向が見込まれており、更には品質も良好のため、来春まで潤沢

な出回りが予想されています。販売状況は、先月まで続いた韓国からの買い注文が落ち着き、ムキ玉価格は値下がりし、55円〜60円/キ(浜値、前月70円/キ(昨年同様期並)程度となっております。そのため、日本国内に今後も一定量が輸入される見込みとなっております。

(3)アメリカ
日本向けの主力であるワシントン州の作付面積が減少していることに加え、日照不足によりスモールジャンボ中心の作柄と見られることから生産量は平年を下回る見込みとな

っています。輸出のオフアール価格は例年並みの70円/キ(浜値：スモールジャンボ)程度が見込まれておりますが、日本国内への入荷量はほぼない状況となっております。

今後の取り進め

消費地に対し、積極的な消費喚起を行うとともに、輸出(8,000キ程度・韓国、台湾向け)や消費地保管などの対策を実施し市場出荷量の調整による需給バランスの適正化を図りながら、市況維持・回復に向けて全道対策を取り進めてまいります。



北見市立相内小学校は9月21日、稲刈り体験を実施しました。この行事は毎年行われており、春に児童たちが植付けした稲を刈り取りました。

当日は、好天に恵まれ、初めに普及センターの神野和範主査の指導を受け、1、2年生から順に刈り取り、高学年は刈り取りと乾燥させるはさがけ作業を行いました。作業はお互いに協力しながら1時間ほどで終了。児童たちが楽しそうに収穫する様子が印象的でした。泥で汚れながらも思い出に残る体験となりました。

今回刈り取った稲を十分に乾燥させた後、児童たちが10月に脱穀作業を行う予定です。

(菊池 光祐)



▲コツをつかみとどんと刈り進める児童たち

西地域 相内 **泥で汚れながらも楽しく収穫**
～相内小で稲刈り体験～



▲コンバインで次々に刈り取られる水稲

東地域 上常呂 **収量に期待**
～水稲の収穫開始～

端野地区では9月25日、もち米の「きたゆきもち」の収穫が始まりました。黄金色に色づいた水稲の穂をコンバインが次々と収穫し、トラックに積み込まれていきます。水稲を19畝作付けしているきたみらいもち米振興会の沼崎栄治会長は「8月の低温と日照不足の影響で生育が遅れ、収量や品質が心配でしたが、稲を刈ってみるとすぐにコンバインのタンクが一杯になり、平年作を確保できそうです」と手ごたえを実感し、「あとは収穫が順調に進むことを願っています」と笑顔で話してくれました。

当JAの「きたゆきもち」は安定した生産量と確かな品質でユーザーとの複数年契約の販売につながっており、生産者の安定した収入の確保に結びついています。

本年の水稲（もち米）の作付け面積は約720㌔。10月上旬まで収穫作業が続く見込みです。

(北島 太)



地 域 だ よ り



きたみらい管内では9月25日、秋まき小麦の播種作業が本格化しました。

今年は8月から天候に恵まれ前作の馬鈴しょの収穫が順調に進み、秋まき小麦の播種作業は北見市温根湯地区で9日から始まりましたが、18日の台風18号から続く降雨の影響で作業が止まっていました。

きたみらい麦作振興会西野繁会長の圃場では22日から播種作業が始まりました。西野さんは「昨年は度重なる台風の影響で播種作業が遅れ、今年産の秋まき小麦の収量や品質の低下が見られた。今年は当初予定よりは遅れたが、概ね適期に播種ができそうだ。来年の出来秋に期待できる」と力強く答えました。

きたみらいでは30年産の秋まき小麦の耕作面積は約4千㌔を見込んでいます。

(北島 太)

東地域 上常呂 **来年の出来秋に期待**
～秋まき小麦の播種が本格化～



▲上常呂地区 西野会長の圃場での播種作業風景

南地域 置戸 **秋の味覚を堪能**
～馬力だすべえ祭～



▲玉ねぎ、馬鈴しょの袋詰め放題を楽しむ子どもたち

置戸地区では9月23日、「第32回もった馬力だすべえ祭」が開催され、天候にも恵まれ町内外から約1,500人が訪れました。

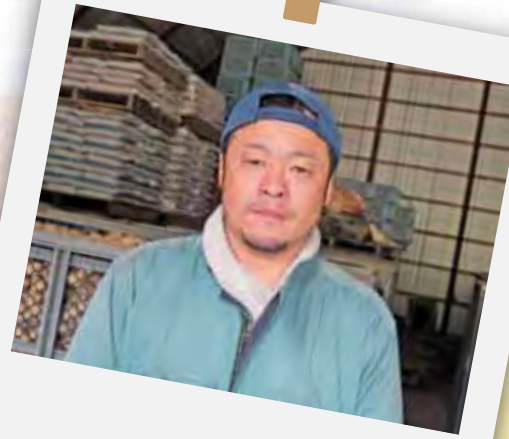
このイベントは地元の農畜産物や加工品を味わってもらうのが目的で、町内の企業や数多くの有志団体が協賛し、町の一大行事になっています。

JAきたみらいが出店した篠原牛の販売コーナーや玉ねぎや馬鈴しょの袋詰め放題には販売開始1時間前から行列ができる盛況ぶり。また、当JAの「篠原牛」や「給食コロッケ」、はぐるまの会の「牛乳豆腐」、男爵の木炭焼芋など8種類のメニューをセットにしたグルメパスポートは前売り早々完売の人気を呼びました。

来場者は焼肉コーナーで肉や野菜を焼いて秋の味覚を堪能しました。北見市から家族と一緒に来場した小学生の男の子は「お肉がおいしかったです。魚のつかみ取りがとっても楽しかったです」と笑顔で話してくれました。

(北島 太)

きたみらいの
ホープさん



- 趣味は？
ドライブ・バイクいじり
- 就農する前は？
建設業。福島へ復旧作業にも行ってきました。
- いまだどんなことに興味がありますか？
主に作物の生育過程や管理作業について興味があります。
- 農業で学び実感したことは？
細かいことでも一つひとつ、やることに意味があるものと実感しました。
覚えることがたくさんあって大変ですが、やりがいを感じる職業だと思います。
- 今後の抱負は？
年間を通じて一通りの作業をしっかりできるようになりたいです。
農業経営についても学習し、収支の管理や経営規模の拡大も検討していきたいと思っています。

宏明さんは畑作専業経営の吉実さん、まゆみさんの長男で就農して1年目になります。
(織田 和訓)

日々、
精進あるのみ！

北見地区・大正
豊原 宏明さん(35歳)

Pretty Woman
ウーマン



仲間の輪を広げる場に

相内地区・美園
おおたけ とよこ
大武 豊子さん(59歳)

今回は女性部西支部支部長の大武さんに登場いただきました。
(石井 睦美)

◆ご出身、ご主人との出会いは？

生田原の農家の出身です。二人姉妹だったので私が実家を継ぐと思っていたのですが、夫とお見合いすることになり相内にお嫁にきました。

◆お子さんは？どんな家庭ですか？

子どもは3人で長男が実家を継いでいます。とりあえず全員が立ち上がったのでほっとしています。昔は仕事に家事に、子どもの部活動の応援など慌ただしくしていましたが、ここ数年でやっと落ち着いて自分の時間ができました。今は孫が2人いて、またにぎやかに楽しいですよ。冬場には少し体を動かしたり、孫のために編み物をしています。

◆ご自身の性格は？

楽天的だと思います。お嫁に来たばかりの頃は大変に感じることもありましたが、「人生良いことも悪いことも半分ずつ」と思って過ごしています。

◆組織活動の魅力、今後の抱負は？

組織活動のいいところは仲間の輪が広がることだと思います。活動に参加していくうちに他の地区に知り合いも増えて街で声をかけられるようになったりするのが嬉しいです。また、最近はフレミズのみなさんの様子を聞くたびに意欲的だなと感心しています。私も元気でいられる今、出来るときにやりたいことをして、有意義な活動にしたいなと思っています。

わが家のアイドル

姉兄と仲良しの未っ子

秋晴れのなか安齊家を訪ねるとお母さんと一緒に元気一杯の龍ノ介くんが出迎えてくれました。

普段はおばあちゃんの家で遊んでいる龍ノ介くん。折り紙が好きで、ハサミで切ってチョウチョを作ったりします。外遊びではシャボン玉でよく遊びます。

最近では自分の服を毎朝起きて、コーディネートします。上仁頃の保育所に通っており、11月のお遊戯会に向けて桃太郎の踊りをみんなで頑張っています。

動物が好きで、絵本図鑑に載っている動物たちの名前を全部言うことができます。なかでもシマウマが好きです。

たまにケンカもするけど仲良しの4姉弟。男同士だからか、琥太郎(こたろう)くんとよく遊びます。

大きくなったら龍ノ介くんは「アンパンマン」、琥太郎くんは「キュウレンジャー」になりたいと話してくれました。

龍ノ介くんは安齊亮一さん、里実さんの二男です。(高田 陽介)



▲左から龍ノ介くん、華乃音(かのん)ちゃん、美桜里(みおり)ちゃん、琥太郎(こたろう)くん

北見地区・美里

りゅうのすけ
安齊 龍ノ介くん
(3歳)



▲平成8年、高園実践会「大収穫祭」の集合写真。写真の上から3段目の真ん中、初代組合長 故 高橋俊一氏の後ろが伊藤さんです。

みんなで鍋を囲んだ
大収穫祭



訓子府地区・高園

こうじ
伊藤 幸司さん(62歳)

し、玉串を捧げ、お神酒を頂き豊穣の秋の感謝と来年の豊作を祈っています。

また、イベントでは農家ならではの「ジャンボカボチャコンテスト」があり、今までの最高は谷口さんの126.4kgです。

●メイン料理は何ですか？

お母さんたちが各家庭から自家野菜を持ち寄り、腕を振るって作る鍋です。みんなで鍋を囲んで食べ、話に花が咲き、とっても盛り上がりです。これが、感謝祭の一番の楽しみです。

伊藤さんは開拓100年史を見ながら、懐かしい昔話をしてくれました。
(北島 太)

記念
の
一枚

●どのようなことをしているのですか？

高園実践会の家族が高園公園に集まって、観音様の前に整列

INFORMATION

准組合員について学ぶ(全4回シリーズ)

准組合員の利用規制を導入するか否か、農水省は平成33年3月末までに結論を出す予定にあります。この規制が利用者である准組合員や地域の農業や経済に与える影響を考えてみましょう。

【第2回】地域の農業をともに支える准組合員



生徒

准組合員制度が生まれた歴史はわかったけど、JAの事業にはどういうものがあるのかな？たくさんあるって聞いたよ。

JAには、販売（農畜産物の選果・出荷・代金精算）、営農指導（農業経営・農業技術サポート）等、農業に直接関係する事業はもちろん、生活面でのサポートも含めた幅広い事業を展開しているよ。



先生



生徒

正組合員（農業者）を支援する組織だから、農業のイメージは沸くけど、准組合員の人たちはどんな事業を利用しているの？

JAバンクやJA共済でおなじみの信用（貯金、各種ローン）、共済（ひと、いえ、くるまの保障）事業や、生活（Aコープ（スーパー）、ガソリンスタンド運営）事業もあって、地域の皆さんの生活を幅広く支えているのよ。



先生



生徒

農業者でなくても利用できる事業がたくさんあるんだね。准組合員になると、どんなメリットがあるの？

ポイントサービスや優遇金利もメリットだけど、准組合員がJAを利用することで、農業振興や地域の発展にも繋がっているのよ。

皆が色々な事業を利用することで、それぞれの事業ボリュームが大きくなれば、効率的な事業運営ができるから、販売事業や農業者への営農指導に、より力を入れることができるのよ。この循環で地域の農畜産物の生産も充実するから、例えば野菜選果場での雇用も生まれるし、皆の事業利用が巡って地域の発展にも繋がっているわ。



先生



そっかあ。准組合員の利用が規制されちゃうと、私たちの生活だけでなく、地域の農業や経済にも悪影響が出ちゃうんだね。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトを覗いてください。

JA北海道中央会

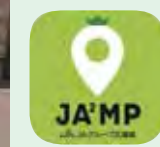


【1万ダウンロード突破】

JAグループ北海道が取り組む「サポーターズくり」の一環として制作した、スマートフォンアプリ「JA2MP（ジエイエイジャンプ）」のダウンロード開始から約1年が経過しました。

各地でのPR活動を通じて皆さまにダウンロードして頂いた結果として、平成29年8月に、1万ダウンロードを突破しました。

今後も、魅力ある新鮮かつタイムリーな農畜産物情報を発信するため、アプリのコンテンツの充実と消費者の皆さまへのPRに取り組んで参ります。



JA北海道信連



JAバンクでは、青少年の育成支援とスポーツ応援を目的として、平成21年度より全日本大学駅伝対校選手権大会へ特別協賛を行っております。
8月に札幌市のモエシ沼公園で行われた北海道地区予選会には、地元JA・本会・農林中央金庫の職員が大会のサポート役として参加し、道産食材を使用した「おにぎり」「飲むヨーグルト」及び「JAバンクオリジナルタオル」を選手達へ差入れしました。



ホクレン



↑訓子府実証農場HPはこちら

ホクレン訓子府実証農場（訓子府町）では、来年4月から1年間、農場での酪農研修を通じて就業に必要な知識や技能を習得する「平成30年度酪農研修生」を募集しています。研修は乳牛飼養管理、搾乳、子牛哺乳育成、自給飼料栽培管理などの実践研修を中心に、酪農畜産に関する基礎知識を習得するための座学研修も実施します。詳しい内容については、ホクレン訓子府実証農場業務課（☎0157-4712191担当：佐々木）まで。



JA共済連北海道



秋の全国交通安全運動（9月21日～）にあわせて、道警・交通安全協会と連携し、道内各地で本会職員による街頭啓発活動を展開します。交通安全旗や横断幕を掲げてドライバーと歩行者へ安全運転や交通ルールの遵守を呼びかけます。（札幌地区は9月29日実施予定）
JA共済連北海道は交通安全啓発活動を通じて安心して暮らせる地域づくりに役職員一同取り組んでまいります。



JA北海道厚生連



旭川厚生病院では、「土曜ドック」を実施いたします。男性を対象としており、各種オプション検査も可能です。随時予約を受け付けております。（☎0166-3317171）
札幌厚生病院では毎月第2土曜日に「臍臓・胆のうドック」を実施しております。（☎011-251-5713）
また、帯広厚生病院では、オプション検査の「脳ドック」を毎月第2土曜日に実施しております。（☎0155-24-4161）いずれも完全予約制。

もしもの備えに「麦まるうどん」 日赤看護大が「北の災害食」で 札幌市長賞に輝く！

札幌市内で9月1日、北海道主催の「北の災害食」レシピコンテストが開催されました。書類選考を勝ち抜き、優秀賞に選ばれた6作品(2部門)について衛生面やレシピなどの最終審査が行われました。
日本赤十字北海道看護大学の学生考案による『血液サラサラいわしの麦まるうどん』が第2位となり、札幌市長賞を受賞しましたので紹介します。



みしま はるか
三島 春花さん
大学：日本赤十字北海道看護大学
看護学部看護学科(3年)
所属：災害beatS研究会
出身地：浦河町



『血液サラサラいわしの麦まるうどん』
地元の北海道産の食材を使いたいとの思いから、玉ねぎ・麦まるごとうどん・イワシの缶詰を使用。食べるだけで温まり、減塩にも対応し、イワシのEPA・DHAで血液がサラサラになることがポイント。

災害時でも栄養に気を遣った食事を

日本赤十字北海道看護大学の三島春花さん(看護学部看護学科・3年)が所属する災害beatS研究会では1月に厳冬期訓練、3月には子ども達を対象に「オホーツクdeあそぼうさい」などを実施。冬の北海道で大きな災害がおきたらどうするか、過去の災害の教訓を活かし、北海道での災害に備えることを目的としています。
同研究会から「北の災害食」コンテストに3件を応募したところ、見事、三島さんの『血液サラサラいわしの麦まるうどん』が書類選考を通過しました。

三島さんは厳冬期訓練の際に当JA加工品「麦まるごとうどん」を使った災害食を提供したところ、地域の方とも会話が弾み、印象に残ったことから同レシピを考案しました。「震災などの災害時には寒さで亡くなることもあります。また持病で高血圧を持っていても、薬の運搬が遅れることもあるため、健康に気遣った料理を意識しました」と話します。

また、「コンテストを通して簡単に調理ができる災害救助用炊飯袋『ハイゼックス』や、北海道には美味しい食材が身近にあることを発信していきたい。災害が起きてもカップラーメンやおにぎりではなく、普段に近い食事がとれるよう栄養にも気を遣った災害食をいろいろな人と協力して考案していきたいです」と話してくれました。

今後に向けて「地元でも地震や津波が多いので、看護職や保健師に就いて栄養にも注目した食事を提供したい。災害が起きた際にも食事をとることで“おいしい”“たのしい”といった声や笑顔を見られたらいいなと思います」と抱負を語りました。



▲麦まるごとうどんをPRする三島さんと災害beatS研究会メンバー、顧問の根本教授

血液サラサラいわしの麦まるうどん

【材料：1人分】
麦まるごとうどん…1束
玉ねぎ……………1/4個
鰯路イワシ缶……………1/3缶
水……………250ml
(使用する調理器具)
災害救助用炊飯袋『ハイゼックス』、包丁、カセットコンロ、鍋
【作り方】
①玉ねぎは皮をむいて、細切りにする。
②ハイゼックスにすべての具材を入れる。うどんは半分に折って入れる。
③ハイゼックスに水を250ml入れ、すぐに閉じる。
④沸騰した鍋で14分間加熱する。
⑤器に移して完成。移さずにハイゼックスを紙コップに入れてもOK。

北の災害食レシピコンテスト

「北の災害食」は厳冬期も想定しながら、北海道において誰でも調達しやすい食材を活用し、北海道の「食」の力で心身ともにストレスの大きい避難生活の質を高める北海道らしい「災害食」の普及を通して「日常への備え」の意識を高めることを目的としています。

本年は一般部門183件、アレルギー対応食部門21件の計204件が応募されました。



INFORMATION

ぐりんgreen35号

消費者のみなさまから生産者のみなさまへ 感謝・激励の メッセージが届きました！

7月に発行しました一般市民向け広報紙「ぐりんgreen35号」に読者の皆様からたくさんのご感想・意見・要望が寄せられました。生産者に向けた感謝や激励のメッセージも届きましたので、その一部をご紹介します。
なお、JA事業に寄せられたご意見・ご要望につきましては、今後、業務の参考にさせていただきます。

- ・農業は大変な仕事だと思います。野菜、他の作物、いつも感謝して食っています。(71歳 女性)
- ・農、酪農、水田お天気で左右されて大変ですが、皆様お体に気をつけて収穫を迎えて下さいませ。(68歳 女性)
- ・うどんやドレッシングなど、お土産として、かなり喜ばれています。新しい商品に期待しています。(46歳 男性)
- ・地産地消が一番安心です。なるべく産地を確認してスーパーでも買物しています。(67歳 女性)
- ・二ユースで見ましたが通年出荷する取り組みをしている様で頑張っています。(68歳 女性)
- ・全戸配布のぐりんgreenを毎回見えます。農家の今や食べ物の話など、作る方の工夫が見えるとても楽しい内容です。これからも楽しめる内容に期待しています。(57歳 女性)
- ・金融商品について、もっと積極的に発信してほしいです。(59歳 男性)
- ・十勝地域の各農協に負けない対外戦略(P.R)が求められていると

…など、多数のご意見(ご要望)を頂きました。
思います。(52歳 男性)
JAきたみらいが市民にもっと身近になると良いと思います。(66歳 男性)

今年はや風が強いので、雨を願っています。来年は雨に成りますようにJAさんも頑張ってください。

水害には心を痛めますが、皆村全力ががんばって下さい。

息子は年中、じかもし、玉ねぎ、油あげのみそ汁がなご機嫌が悪いです。とうもろこしうまいので、今年もとうもろこしも持って来ます。

北見のタマネギやコムギは国民にとって大切な食料です。ムダにしないうまい頂いてます。これから頑張ります。

農業は大変な仕事と感謝して食しています。野菜、他の作物も感謝して食しています。

・収穫時期が近づきお忙しいと思いますが、みなさん暑さに負けず頑張ってください。今年もおいしい野菜をたくさん採れます。

身体に良いおいしい食材を天気に左右されるお仕事をありがとうございます。御苦労様です。

Aコープ売っている農家の野菜をいっぱい買っています！

INFORMATION

常呂川災害復旧工事 端野地区現場視察

昨年、記録的な大雨で、常呂川などで堤防決壊により端野地区、常呂地区に甚大な被害が発生しました。

河川事務所は、護岸ブロックの復旧や河道掘削なども併せて工事を進めていて一日でも早い完成に向けての復旧完了を目指しています。

当JA西川組合長は9月12日、網走開発建設部北見河川事務所の協力を得て、端野地区の常呂川災害復旧工事現場視察を行いました。

当日は雨のなか、尾形河川事務所所長の説明で忠志地先災害復旧工事の現場を皮切りに、二区地先災害復旧工事現場など計5カ所を視察しました。



▲災害復旧工事現場を視察する西川組合長

作業安全と効率化ねらい 統一ユニフォーム着用

当JAの玉ねぎ・馬鈴しょ選果施設では、9月4日から選別作業員が統一ユニフォームの着用を始めました。選別作業員のユニフォームを配布するのは初めてのことで、当JAの玉ねぎ・馬鈴しょ選果場の全12施設で働く選別作業員約500人にベストと帽子を配布しました。

最大の目的は作業安全で、場内でも目立つオレンジ色を基調としたデザイン。ベストの胸部分と帽子にはJAロゴマークを入れるなど、一致団結して品質・作業効率アップに取り組む意識づくりも狙うものです。

視察に訪れる団体や、取引業者からも好評で、きたみらいブランドのイメージアップも期待されます。



▲ユニフォームを着用して作業にあたる作業員のみなさん



▲タマネギの葉切り作業を行う小西職員



▲大コンを組み立てる土田職員

新人職員9人が 秋の農家実習

当JAの今年度の新人職員9人が春に続いて、秋の農家実習を行いました。この取り組みは、定植時期と収穫時期の繁忙期に実習を行い、受け入れ農家から農作業の指導を受け、今後の業務に活かすことを目的としています。

期間中の9月4日から5日間は好天が続き、タマネギやパレイショ、スイートコーンの収穫作業、大コンの組み立て作業などを体験し、充実した実習となりました。

金融共済部の小西穂乃果職員は「タマネギ定置型タッパーの選別作業では、傷んでいるものや石を取り除く作業が大変でした。今回学んだことを日々の業務に活かしていきたいです」と振り返りました。

総務企画部の土田恭兵職員は「春と秋の実習を通して作物を育てることの難しさを感じました。JA職員として今回の経験をより多くの人に伝えていきたい」と話してくれました。

(菊池 光祐)

端野地区選果場に 車両洗浄施設を整備

近隣市町村において国内で初めてジャガイモシロシストセンチュウの発生が確認されたことから、当地域の侵入を防止するため端野町青果物センター内に当JA4台目の車両洗浄施設を設置しました。

このことによりきたみらい管内の主要となる馬鈴薯選果施設すべてに車両洗浄施設が整備されました。

近年、道内では圃場間移動に伴う土壌病害虫の発生が懸念されており、ひとたび病害虫が発生すると生産性の低下や輪作体系の崩壊につながることから、侵入防止対策を徹底するとともに、土壌調査や植物検診を実施し早期の発見に努めています。

これから農産物の輸送が最盛期を迎えるため本施設でタイヤや車体の洗浄を行い圃場に土砂を持ち込まないことを徹底していきます。



▲トラックを洗浄する様子

北方四島から訪問団の来北! 端野選果場を見学

JAきたみらいは9月23日、ピザなし交流で北方四島から来北した訪問団約60人に端野選果場の施設を案内しました。

北方四島交流北海道推進委員会が実施しており、今回は北見市が滞在地となりました。ホームステイしながら、日本の文化や生活を体験し、交流を深めました。

端野選果場では玉ねぎ・馬鈴しょの選別、箱詰め作業を見学。日本一の生産量を誇る玉ねぎの選別では機械化された工程に感心し、興味深く見て回りました。ムキ玉ねぎの施設では涙を流しながら驚き、JAの精算方法や、従業員の労働条件など、多岐にわたり質問がでました。

また、JA職員の作業着が玉ねぎ染めであることに特に驚いていました。

その他にも端野小学校での歓迎セレモニーや、山の水族館、北見ハッカ記念館などを見学し、北見を後にしました。



▲小澤職員の説明(通訳を介す)を聞く訪問団のみなさん

～続・今こそJA～ 【第1回】 ロッチデール原則 がすべての原点

18世紀後半、イギリスで産業革命が起こり、資本家や富裕層という人たちがあらわれました。街中には粗悪品があふれ、量目のごまかしが横行しており、ロッチデールという小さな町の織物職人がその生活

を守るために「ロッチデール公正先駆者組合」を設立しました。彼らは協同組合として自ら守るべき事項を定めており、これがその後「ロッチデール原則」と呼ばれるものとなりました。ホリヨークという人が書き留めたロッチデール原則は以下の14の項目から成り立っています。

この14項目をすべて守ることが協同組合として必要なことであり、このどれか一つでも欠けてはいけないものです。次回以降はこの各項目について解説することにします。

ロッチデール原則

- ①組合は主として、自らの出資金により開店する。
- ②可能な限り、純粋な食料品を供給する。
- ③目方や分量をごまかさない。
- ④市価で販売し、商人と競争しない。
- ⑤掛け売りをせず、労働者の負債を防止する。
- ⑥剰余は購買高に応じて、組合員に分配する。
- ⑦組合員をして利益を組合の銀行に貯蓄せしめ、節儉を教える。
- ⑧出資金に対する利子を5%に抑える。
- ⑨職場において得た利益は、賃金に比例して分配する。
- ⑩全剰余の2.5%を教育に充てる。
- ⑪役員の内命や議決に対し、1人1票の民主的評決権を持つ。
- ⑫犯罪や競争のない産業社会を建設するため、協同組合の商工業を発展させる。
- ⑬卸売購買組合を創設し、純良確実な食料品を供給する。
- ⑭協同運動を自助の精神で行い、勤勉な者に道徳と能力を保証する新しい社会の胚珠(はいしゅ)の組織とする。

INFORMATION

第8回 理事会報告

9月28日、午前9時より第8回定例理事会が開催され、報告事項13件、決議事項5件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】**
- ①監事監査（随時）報告について
 - ②内部監査（購買部門、個人情報保護・情報セキュリティ対策）報告について
 - ③組合員状況報告について
 - ④財務状況報告について
 - ⑤平成30年度職員採用について
 - ⑥理事に対する資金貸付に係る報告について
 - ⑦作況調査（9月15日）報告について
 - ⑧国際貿易交渉等をめぐる情勢について
 - ⑨農業予算等をめぐる情勢について
 - ⑩H29年産共計玉ねぎ・馬鈴しょの選果販売状況について
 - ⑪北見管内総合家畜共進会について
 - ⑫もち米の精算状況について
 - ⑬JASTEM基盤更改にかかる危機管理計画書等の制定状況について

- 【決議事項】**
- ①特定個人情報取扱規程の改正について
 - ②育児および介護休業規程の改正について
 - ③JAきたみらいコントラクター事業実施計画書（改正案）について
 - ④JAきたみらいコントラクター事業地域説明会資料について
 - ⑤理事との買取販売品に係る取扱基準の設定について

北海道(地域別)最低賃金が改定

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイム、アルバイト等を含む）に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。農業関係の方も順守願います。

最低賃金額 時間額 810円
効力発生日 平成29年10月1日

※最低賃金…精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金及び時間外等割増賃金は含まれません。

廃プラ回収(秋)のご案内

11月6日(月)【地区：温根湯、留辺蘂、置戸、訓子府】
7日(火)【地区：相内、上常呂、北見、端野】

受入時間：(午前) 9:00~12:00
(午後) 13:00~15:30

会場：西相内小麦乾燥貯蔵施設

※同会場で農耕用廃タイヤ、ホース類【ビニール、ゴム含有】の回収も行います。

【お問い合わせ先】
廃プラ、ホース類： 企画振興グループ (☎32-8785)
農耕用廃タイヤ： 燃料自動車グループ (☎47-2099)

平成29年度 猟銃所持許可および狩猟免許試験のお知らせ

<< 猟銃取得関係 >>

① 初心者講習会（午前：講習会、午後：筆記試験）

開催日	時間	開催場所	申込先
平成29年11月12日(日) 【締切：11月2日(木)】	午前9:30より	北見市警察署 (3階303会議室) (北見市青葉町6番1号)	北見警察署 1階 本部生活安全課 (☎0157-24-0110)

※ 銃の資料関係は北海道猟友会 北見支部【(☎0157-23-1440)ジャパン保険企画内】までお問い合わせください。
※ 講習手数料(6,800円の北海道収入証紙)は、受講申込時に徴収します。
※ 会場は定員の都合上、締切日前に受講申込みの受付を終了することがあります。

<< 狩猟免許関係 >>

① 第1種(猟銃) およびわな猟等の狩猟免許取得に係る予備講習会

開催日	時間	開催場所	申込先
平成29年11月26日(日) 【締切：10月30日(月)】	午前9:00より	網走市呼人 コミュニティセンター (網走市呼人344-1)	猟友会北見支部 【(☎0157-23-1440) ジャパン保険企画内】
平成30年1月28日(日) 【締切：12月25日(月)】			

※ 受講料：猟銃は7,500円、わな猟は5,000円
※ 申込時に氏名、住所、電話番号をお知らせください。

② 第1種(猟銃) およびわな猟等の狩猟免許試験

開催日	時間	開催場所	申込先
平成29年12月3日(日) 【締切：11月20日(月)必着】	午前9:00より	オホーツク総合振興局庁舎 (網走市北7条西3丁目)	オホーツク総合振興局庁舎 (網走市北7条西3丁目)
平成30年2月4日(日) 【締切：1月22日(月)必着】			

※ 試験の詳細は猟友会北見支部【(☎0157-23-1440) ジャパン保険企画内】までお問い合わせください。

退職のお知らせ

平成29年8月31日付で職員が退職しましたのでお知らせ致します。
在職中は、組合員皆様をはじめ、地域皆様のご厚情を頂き誠にありがとうございました。



福井 雅人
(組合員ふれあい室
ふれあい相談東グループ)
・H29.4 入組
・H29.4 組合員ふれあい室ふれ
あい相談東グループ
■在職期間 5カ月

イベント情報

- 訓子府ストリートフェスタ
とき：10月14日(土)
場所：訓子府町商店街
- 端野物産フェア
とき：10月15日(日) 10:00~13:00
場所：JA端野地区事務所前駐車場
- オホーツク農業祭
とき：10月21日(土) 10:00~14:00
場所：サンドーム北見

JAやJA関連団体へ100%就職 (平成28年度実績)

大学・短大・専門学校・高校生大歓迎 **第2回 学生募集 JAカレッジ**

●60名 ●1カ年、全寮制 ●満24歳未満(平成29年4月1日現在)
●大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校生及び見込 **男女共学** **JA、JA関連団体へ就職**
●試験日：12月12日・13日 ●願書受付：9月11日~11月20日消印有効 ●学校見学もできます

JAグループ職員養成校 **JAカレッジ** 一般財団法人 北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1
☎0120-918-417 JAカレッジ 検索

オホーツク管内JA中古車検索サイト 随時情報更新中!!
(平成30年3月31日まで予定)

オホーツク管内JA、協力ディーラー、ホクレン油機サービスの当サイトを通じて購入された方に
税別30,000円相当のオプション・本体値引きまたは付属品をサービス!
まずは、<http://www.ucars.jp>にアクセス!!

スマートフォン・パソコンから閲覧できます。お問い合わせは各JA自動車担当窓口まで

SUZUKI CARRY **売れています!!**

KKCU-L2 4WD/5MT

JA特別パッケージ **お支払い総額 99.9万円~**

【お問合せ先】
JAきたみらい 燃料自動車グループ
生産資材拠点センター
(☎0157-47-2099)
常呂郡訓子府町駒里44番地2

伝書鳩WEBサイト
「オホーツク特選街」掲載スタート!
きたみらい給油所のお得なイベント情報などを掲載いたしますので、ぜひご覧ください
(下記URL・右側QRコードで公開。スマホからでもOK!)

<http://denshobato.com/tokusen/hokuren-ss-kmi/top.tks>



まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



9月号まちがいさがしの当選者

9月号のまちがいさがしの答えは「2、4、5、8、11」でした。正解者20名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

()内は地区名

- 安斉華乃音さま (北見) ・黒須 来春さま (北見)
- 仁義 実さま (温根湯) ・稲田 雄介さま (温根湯)
- 日下 弥生さま (置戸) ・平塚 志菜さま (訓子府)
- 高谷 京子さま (訓子府) ・黒川百合子さま (訓子府)
- 宮本 鈴子さま (上常呂) ・館野 馨さま (端野)

以上の方々には、JAきたみらいの「麦まるごとうどん(平打ち)」3袋をプレゼント致します。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・感想を記入してFAXでご応募下さい。

抽選で10名の方に、JAきたみらいの「玉ねぎと牛すじのカレー」2箱をプレゼント致します。

ま ちがえなかったら、いいとおもっています。たのしかったです。また、やりたい!

(北見地区 安斉華乃音さん)

正解だったよー。また、挑戦して応募してね!!

へ ジタブルライフのページのサトイモの形がおもしろかったです。いつも楽しみにしています。

(訓子府地区 平塚 志菜さん)

ありがとうございます。今月号は健康野菜のゴボウです。「きんぴら」や「鍋物」、「煮物」と、これから寒い時期にぴったりです。挑戦してはいかがでしょう?

読者の声

最 近の天候は不順すぎて困りますねえ。これからも収穫が続きますが、健康には気を付けて、怪我には注意して豊穡の秋に期待しましょう!

(温根湯地区 仁義 実さん)

湯の名残 今宵は肌の 寒からむ (松尾芭蕉)
ぐっと寒さが押し寄せる季節になりました。収穫作業も終盤ですが、風邪を引かぬよう、気をつけてお過ごしくださいね。



まちがいさがし
見つけられたかな?
ヒントは
19ページの下だよ



ベジタブルライフ

イラスト:小林祐基

ゴボウのプロフィール

- 【分類】キク科
- 【原産地】ユーラシア大陸北部
- 【和名】牛蒡
- 【おいしい時期(旬)】10~12月
- 【主な栄養成分】イヌリン、リグニンタンニン、クロロゲン酸、カリウム、カルシウム、マグネシウム、葉酸など

ゴボウ

~日本で食用とされる「薬になる根菜」~

見分け方

- ひげ根が少ない..... 弾力があり、太さがある程度均一で、先端が緩やかに細くなっている
- 表面にひび割れや黒ずみがあったり、先端がしおれているものは避ける..... 持ったときに張りがあり、ピンとしている
- 土付きの方が日持ちしやすく、風味も滑らかなれにいい..... 大浦ゴボウや堀川ゴボウなどはたくずしりしたものが良品
- 太過ぎると中にス(空洞)が入っていることがある

保存方法

乾燥に強い土付きのゴボウは新聞紙で包んで冷暗所に一度に使い切れないときは、ささがきにして軽くゆでて、しっかりと水気を切り保存用袋などに入れて冷凍保存

ゴボウの子クラ

- イヌリン**: 便秘改善、高血圧予防、風邪予防、貧血予防、生活習慣病予防
- タンニン**: 強い抗酸化作用、免疫力の向上や老化予防
- リグニン**: 腸の働きを整える、血糖値の上昇を抑制
- コレステロール値を抑制**: コレステロール値を抑制、腸のぜん動運動を活発にする

楽しみ方・食べ方のコツ

- 風味やうま味は皮の部分に多い**: 皮はむくのではなく、たれや包丁の背で軽くこそげ程度にするのがいい!
- サザウ**: 水にさらさずそのまま調理した方が風味や栄養分を無駄なく生かせるが、白く仕上げたい場合は変色を防ぐために切ったら水か酢水にさらす
- 千切り**: 鉛筆を切るようにそのローラーを使うと簡単
- 鍋め切り**: 肉詰め(堀川ゴボウ)
- ささがき**: 中心の空洞部分に詰める

定番メニュー

- きんぴら
- きりたんぽ鍋
- ゴボウサラダ
- 鍋前煮

ゴボウを細切りにして、さつと酢水にさらし、鍋で水から火にかけてゆでる。水気を切り調味料をあえる

ゴボウのいろいろ

- 堀川ゴボウ**: 千葉県匝路市大浦地区の特産品。長さ約12cm、直径約2~3cmの太さがある。根の中心に空洞がある。空洞を埋めて肉詰め料理などでもできる。成田山新成寺に全て奉納されているため、市場には出回らず、販路の「大浦ゴボウ」(大浦ゴボウ)と区別される。
- 大浦ゴボウ**: 千葉県匝路市大浦地区の特産品。長さ約12cm、直径約2~3cmの太さがある。根の中心に空洞がある。空洞を埋めて肉詰め料理などでもできる。成田山新成寺に全て奉納されているため、市場には出回らず、販路の「大浦ゴボウ」(大浦ゴボウ)と区別される。
- 新ゴボウ**: 4~6月ごろに出回り、色白で細い。長さ約10cm、直径約1cmの太さがある。根の中心に空洞がある。空洞を埋めて肉詰め料理などでもできる。成田山新成寺に全て奉納されているため、市場には出回らず、販路の「大浦ゴボウ」(大浦ゴボウ)と区別される。
- 堀川ゴボウ**: 京都府の伝統野菜の一つで、長さ50cm前後、直径が約2~3cmの太さがある。根の中心に空洞がある。空洞を埋めて肉詰め料理などでもできる。成田山新成寺に全て奉納されているため、市場には出回らず、販路の「大浦ゴボウ」(大浦ゴボウ)と区別される。
- ザレシフィー(西洋ゴボウ)**: ヨーロッパ原産のキク科の野菜。日本のゴボウに比べて根が細く、皮はむくのではなく、たれや包丁の背で軽くこそげ程度にするのがいい!

ゴボウのヒモツ

ゴボウの原産地はユーラシア大陸北部とされ、野生種が広範囲に分布している。食用にするのは世界的に見ても日本、台湾、韓国などごく一部

中国では古くから野生のゴボウを薬用にして、16世紀の漢大では「蕪実」と書かれ、利尿作用や化痰(か)のう)止めの効果があるといわれているよ

平安時代『本草和名』和名抄(おみょうしよう)には「キタキス」という名前が登場。室町の版立の一つにもなっていたという記録がある

主な産地

青森・茨城・北海道で全国の半分以上を生産しているよ



【材料：4人分】
 新ゴボウ ……………3本
 牛肉（すき焼き用） ……………8枚
 水菜 ……………少々
煮込み用たれ
 しょうゆ ……………3/4カップ
 みりん ……………1カップ
 酒 ……………3/4カップ
 砂糖 ……………150～250g（お好みで）

牛肉とゴボウの甘辛煮

【作り方】

- ①3～4cmほどに切り柔らかくなるまで下ゆでしたゴボウを冷まして、広げた牛肉で巻き、サラダ油（材料外）をひいたフライパンで表面を焼き固め、取り出しておく。
- ②①のフライパンに煮込み用のたれを入れ、沸騰させて①を入れ煮込む。
- ③②の煮汁に程よくとろみがついてきたら火を止める。
- ④ささがきゴボウをサラダ油（材料外）で揚げ、下に敷き、③を盛り付け水菜をあしらひ出来上がり。

メモ

たれの砂糖は何回かに分けて入れながら、甘さを調整すると良い。



【材料：1人分】
 新ゴボウ ……………1本
 ニンジン ……………1/2本
 卵 ……………1個
 ゆでたエダマメ ……………少々
丼たれ
 かつおだし汁 ……………1カップ
 しょうゆ ……………大さじ3
 みりん ……………大さじ3
 砂糖 ……………大さじ2
 天ぷら粉 ……………適宜
 薄力粉 ……………適宜

ゴボウのかき揚げ丼

【作り方】

- ①丼たれを鍋で一煮立ちさせる。
- ②ボウルにささがきにしたゴボウとニンジンを入れ薄力粉をまぶし、水（材料外）で溶いた天ぷら粉（天ぷら衣）を入れさっくりと混ぜる。
- ③直径18cmのフライパンにサラダ油（材料外）を多めにひき熱し、②を流し入れ中火で両面を揚げ焼きする。
- ④③のフライパンの油を拭き取り、丼たれを適量入れ沸騰させ、かき揚げを入れ、溶き卵でとじてご飯の上のせ出来上がり。エダマメを散らす。

メモ

天ぷら衣は重たくしないこと。

編集後記

- ・玉ねぎや馬鈴しょ、水稻など多くの作物が収穫の最盛期を迎え、各地区では農業に関わるイベントが開催されました。
- ・JAからのお知らせでは、日赤看護大の学生が「北の災害食」レシピコンテストで札幌市長賞受賞を紹介。当JAの麦まるごとうどんを使用しており、取材中も全粒粉であることを絶賛され、食べた瞬間これしかないと言わしめるほどだったとのこと。今後も地域のみなさまに愛されるJAでありたいと思うところです。
- ・秋の訪れとともに朝晩の肌寒さを感じ始めました。事務所内でも風邪の兆候が出始めており、季節の変わり目の体調管理にお気をつけください。
 （高田 陽介）

JAきたみらい概要

（平成29年9月20日現在）

- ・組合員数（正） 1,708人
- ・組合員数（准） 6,267人
- ・組合員戸数（正） 1,052戸
- ・貯 金 106,810百万円
- ・貸 出 金 14,915百万円
- ・出 資 金 4,973百万円

発行 きたみらい農業協同組合
 〒090-0813 北海道北見市中ノ島町1丁目1番8号
 TEL0157-32-8777(4)

責任者/西川孝範

編集者/営農振興部:企画振興グループ